

対象農用地	農業用施設				■ 農地維持
「農地維持」150 ha	開水路	パイプライン	農道	ため池	■ 資源向上 (農村環境保全活動まで)
「資源向上」150 ha	27.4 km	19.9 km	35.7 km	7箇所	■ 資源向上 (多面的機能の増進)
農業者 約	250名	活動開始年度	平成 19 年度	活動	10 年目
農業者以外の 構成団体	自治会(大網・大古沢・駒場・日向・日向内・長沢・仲通・大久保・花園・東組・茅生・横関・新渡戸・古山) 第1・5水利組合、消防団46分団、子ども会(仲通・大網・東花・新渡戸)、老人会(大網・ 上郷百寿会・大久保・東組)、駒場ほたるの会、上郷地域うまい米づくり研究会 他				
地域の概略	本地域は、笠間市の南部に位置し、北・西・南の三方を山に囲まれ、豊潤で清冽な水と良質な土壌に恵まれた農村地帯です。その大半は、県営ほ場整備事業岩間地区(昭和47～平成元)として整備された地域で、施設の老朽化や維持管理とともに、地域資源全体の環境悪化が懸念されている中、水利組合やそれぞれの集落等によって管理してきたところです。				

◆耕作放棄畑地の解消◆

畑から油が産出？



暑い中の伐採作業

いつ:平成27年8月

30年以上耕作されない
と、自生の桑も大木になり、畑も山林同然。畑地が活動の対象になったことにより、早速立木を伐採。

30年以上放棄された畑



いつ:平成28年4月

春、温かさと共に黄色の絨毯が一面に。他の場所を含め計80a。菜花摘みに沢山の方が訪れ、また蜜源ともなった。



難台山をバックに咲く

◆今後の展望◆

1. 猪による田畑の被害が拡大。電気柵の設置範囲を拡張。
2. 老朽化した水路・揚水ポンプ等の補修、更新等を計画的に整備。



昔を思い出しての作業

いつ:平成28年7月

収穫した菜種は後約800kg 数日の乾燥後に唐箕たて。昔の農業を再現。刈取り作業は業者へ依頼しコンバインで

いつ:平成28年8月

搾油は専門の業者へ委託。約2週間で琥珀色の液体に。てんぷら・ケンチンの味は格別。但し非売品です。



味は格別

◆平成28年度下半期のスケジュール◆

11月	素掘り排水路へU字溝敷設
11月	市役所報告会
11月～12月	パイプライン清掃業務
11月～1月	台風被害水田法面崩落部補修
11月～1月	用水路の更新工事
12月～1月	排水路底板コンクリート工事
1月	年初めの交流会(どんと焼き)
2月～3月	先進地視察・点検等